



DNW-18026 の概要

課題番号 : DNW-18026

課題名 : 新規がん悪液質治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

井上 克枝 (国立大学法人山梨大学大学院総合研究部医学域)

課題番号 DNW-18026 では、血小板タンパク質を標的として、新たながん悪液質治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

血小板に発現しているタンパク質 X とがん細胞膜上のタンパク質 Y が結合すると、がん関連血栓症が生じる。血栓は炎症を惹起し、慢性炎症は悪液質を惹起する。X と Y の結合抑制が、がん関連血栓形成抑制に寄与することで、悪液質を抑制する。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

投与が容易で、血小板に発現している X とがん細胞膜上の Y の結合を抑制することによる、がん悪液質の根治療法剤。抗血小板薬、抗凝固薬が使えない患者に対しても適用可能な薬剤。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより報告されている。

- 1) がん細胞膜上の Y が血小板に発現している X と結合することで血小板が活性化される。
- 2) X を欠損させた担がんマウスでは、悪液質に特徴的な肺におけるがん関連血栓が低下し、血中炎症性サイトカイン量が低下した。さらに、大腿四頭筋重量の低下、貧血も共に軽度であった。

- 最終目標 :

がん悪液質治療薬としての標的妥当性を検証し、創薬研究に応用可能な化合物を見出す。

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。